病院治療との併用ではなく漢方だけで妊娠は難しいですか？

漢方・鍼灸のみの治療で妊娠されたという実績が多数あります。

国際中医師・薬剤師　桐 正和先生

昭和大学薬学部卒業。北京広安門医院にて研修。国際中医師資格取後、漢方・不妊症相談で多くの患者から支持されている。

中医師・鍼灸師

井上 松春先生

中国長春中医薬大学を卒業後、中医師資格を取得。二年間中医師として病院で勤務し経験を積む。難病・婦人病の多くの臨床経験を持つ。

鍼灸師　川見 まりあ先生

東京医療専門学校卒業。卒業後はスポーツ疾患や、美容鍼灸に従事。鍼灸の不妊症治療で多くの実績を上げる。

Q 昨年 38歳で結婚しました。結婚当初から基礎体温をつけているのですが、はっきりとしたグラフにならず排卵のタイミングが良く分かりません。定期的に性交渉はしていますが、妊娠には至っていません。年齢的にも、不妊治療は早い方が良いと分かってはいるのですが、病院に行くのは抵抗があります。まずは漢方から試してみようと思っているのですが、病院との併用でないと妊娠は難しいですか？

（東京都　桃子・39歳）

A いいえ、そんなことはありませんよ。もちろん、病院治療との併用されている方も多くいらっしゃいますが、当院のお客様で昨年妊娠された方361名のうち、約半分の180名の方が「漢方・鍼灸」の治療で妊娠されたという実績があります。

当院では、中医学アドバイザーをはじめ、国際中医師認定試験に合格した薬剤師たちが常駐し、西洋医学の月経周期のメカニズムと中医学の考え方を合わせた独自の「周期調整法」を用いて治療を行っています。「周期調整法」とは、女性の生理周期を月経期、低温期、排卵期、高温期の4つに分け、それぞれにあわせた漢方と鍼灸を組み合わせる治療法です。体のリズムに合わせてより細やかな治療ができるので、早い方ではひと月、遅い方でも2～3周期でジグザグだった基礎体温のグラフが整い排卵日などが推測しやすくなるなどの臨床結果を得ています。

漢方は長期間の服用が必要と思われるかもしれませんが、当院では妊娠された方のうち約77％の方が服用期間1年以内という実績もあります。初めての方の場合、半年を目安に続けていただきたいのですが、最近では漢方と鍼灸に足つぼ、よもぎ蒸しなどの助妊法を併用することでより治療の効果が上がり、多くの喜びの声を聞くことが出来るようになってきました。

より早く結果を！に応えるために漢方・鍼灸＋助妊法でサポート

晩婚化が進み、不妊治療に取り組む年齢が高くなり、当院へ相談にいらっしゃる方も時間がないと焦りを感じている方が多くいらっしゃいます。そのため、より早く、より良い効果を求められるようになってきました。そこで当院ではこれまでの漢方・鍼灸に加え足つぼ、よもぎ蒸しなどの助妊法の併用をすすめています。

漢方と鍼灸を併用することで「目的の臓腑の血流をよくすること」。生理周期によって漢方薬やツボを変えています。例えば、月経期には経血をしっかりと排出することが大切ですし、卵胞や内膜の形成を助ける、排卵期には刺激を与え排卵を促すなど。着床鍼というのもあり、不妊治療に鍼灸は欠かせません。

昨年10月より導入した「足つぼ」と「よもぎ蒸し」は、どちらも中国では古くから婦人科系疾患の治療に用いられていたものです。これまで体の内と外を漢方と鍼灸で整えることを行ってきましたが、「足つぼ」と「よもぎ蒸し」を用いることで、ベースアップした体のパワーを子宮に集約させる効果が期待できます。

「足つぼ」というと、リフレクソロジーやリラクゼーションで受けたことがある方もいらっしゃると思いますが、当院では、経絡やツボを熟知した国家試験を持った鍼灸師が経験に基づく理論によって足ツボ治療を行います。足裏にある下垂体・卵巣・子宮・腎・副腎などの反射区（ツボ）に対して、一人一人の体質に合わせて物理的な刺激を加えることでそれぞれの働く力を最大限に引き出します。治療を受けた患者さんからは「今までと全然違う！」と、とても驚かれます。また「よもぎ蒸し」は、よもぎにプラスして、お一人お一人の体調に合わせた漢方を調合したオーダーメードのよもぎ蒸しを使用します。よもぎ蒸しには体を温め子宮の血流をアップし、妊娠力を高める働きがありますので、鍼灸治療に合わせてうけられると相乗効果が期待できます。

専用マントを着て穴の開いた椅子の下にあるよもぎを煎じた蒸気で子宮を温める

くるぶしのあたりが生殖機能のツボ。始めのうちは刺激されるとかなり痛いとか

鍼灸治療に用いる鍼は使い捨て。極細の鍼を使用しているので痛みはほとんど感じない。少しの刺激で最大限の効果を引き出せるよう日々研鑽を積んでいる

おすすめサプリメント

誠心堂がプロデュースした女性のためのサプリメント「卵宝源（らんぽうげん）」。沖縄に伝わる希少なヤムイモをベースに生薬、マルチビタミン、葉酸などを配合しています

35歳が一つの目安。始めるなら1日でも早い方が

東洋医学では女性の体は7の倍数で変化するといわれ、7×4の28歳に身体機能・生殖能力はピークを迎え、7×5の35歳から衰え始めます。この35歳という数字は、西洋医学でも妊娠力が低下する年齢とされています。もちろん30代後半、40代の方も多く妊娠していらっしゃいますが、年齢が少しでも若ければ若いほど卵巣年齢が若く、妊娠できる確率も高くなっています。この身体機能や生殖能力のことを、中医学では「腎」と言い、妊娠力とても深い関係があります。漢方には、年齢とともに衰えてしまう「腎」の働きを助ける「補腎薬」が数多くあり、卵巣や子宮の若返りを助けます。もちろん良い状態を永久に保つことはできませんが、妊娠という目標に向かって瞬間的にでも妊娠力を高めることができれば妊娠のチャンスが出てくるということです。

夫婦の絆を深めるためにもぜひお二人で

不妊治療というと女性ばかりが頑張りがちですが、実際には不妊の原因の半分は男性にあると実感しています。ストレスや環境ホルモンによって、精子の働きが低下したり、数が減ったりと男性力が弱くなっているのではないでしょうか。そう言った点からも、漢方と鍼灸での不妊治療はぜひお二人で始めていただきたいですね。当院では予約制で不妊相談も行っており、筑波大学宗像恒次教授の指導の下にヘルスカウンセリングを学んだ薬剤師が相談を受け付けております。ご夫婦間では言いにくいことも、第三者からの言葉だと受け入れやすいということもありますのでお気軽にご相談ください。ご夫婦で喜びも苦しみも分ちあうことでより絆が強くなると思いますよ。

誠心堂薬局　学芸大学店
鍼灸院　爽快館（鍼灸・足つぼ・よもぎ蒸し）

住 東京都目黒区鷹番3-1-5　グリーンアース1・2階
（1階:誠心堂薬局　2階:鍼灸院 爽快館）
電 薬局:03-5768-4193
鍼灸院:03-2768-4449（予約制）
休 年末年始（12/31から1/3まで）　時 10:00～19:00
HP 薬局:http://www.seishin-do.co.jp/
鍼灸院:http://www.sokaikan.jp/
交 東急東横線「学芸大学駅」東口より徒歩1分